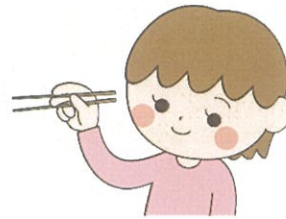


おはしの練習をしよう！！
～ゆき組～



R5.3.6

おはしやおわんの
もちかた



最初にお箸の正しい持ち方を左の図を見せながら説明し挑戦しました。



みんな一生懸命、お箸で動物の口に入れようとしてますが、なかなかうまくつかめません。お箸を持つときにトングのような持ち方をしたいしている子がいたので、もう一度スプーンの「えんぴつもち」が上手に出来てから、お箸へ移行することになりました。



保育園でもなかなかうまく進まず正しい持ち方が出来ない子の姿も見られます。上手に持てるお友達が次々に給食でも箸に移行している姿を見て、箸の練習に消極的になる子もいますが、無理強いせず、見守りながら、1つでもできたら一緒に喜んで、子どもたちの「できた！！」を大切にしていきたいと思います。

ご家庭でも、食事の時にぜひ一緒に見直してみてください。

また、トレーニング箸を使用する場合は、持つ場所が固定されていて、可動域が決まっています。慣れてしまうと変な癖がついてしまうので、ある程度慣れてきたら、普通の箸に移行しましょう。

